

# 公益財団法人加藤朝雄国際奨学財団

## 2015年度 奨学生募集要項

### 1. 応募資格

- (1) アジア諸国の国籍を有しており（日本国籍は除く）、「留学（College Student）」の在留資格を保持する私費留学生。
- (2) 2015年4月現在で、以下の「2. 対象学年」に該当し、正規生として入学・在学する者。
- (3) 大学院修士課程（博士前期課程）の者は修士号、大学院博士課程（博士後期課程）の者は博士号を、標準修業年限内に取得する見込みのある者。
- (4) 学業、人物ともに優れ、また心身ともに健全で、経済的に奨学金を必要とする状況にある者。
- (5) 当財団の趣旨を理解し、国際理解と親善に関心を持ち、将来、日本とアジア諸国の懸け橋となって国際社会に貢献する確たる目標のある者。
- (6) 当財団の交流活動に参加し、他の奨学生と積極的に交流する意思のある者。
- (7) 日本語でコミュニケーションの取れる者。
- (8) 2015年4月現在において、政府あるいは他の奨学財団等からの奨学金を受けていない者。
- (9) 原則として、修士課程（博士前期課程）の者は35歳程度以下、博士課程（博士後期課程）の者は40歳程度以下が望ましい。
- (10) 日本で就業している親がいない者。

### 2. 対象学年

#### 【修士課程（博士前期課程）】

- ・2015年4月に修士課程（博士前期課程）に在籍する者（年次は問わない）。

#### 【博士課程（博士後期課程）】

- ・2015年4月に博士課程（博士後期課程）に在籍する者（年次は問わない）。

※秋学期に入学したために、4月を入学・進学の出発点としない学生も応募可とする。

### 3. 奨学金

修士課程在籍者は、月額13万円の支給とする（返済義務はなし）。

博士課程在籍者は、月額15万円の支給とする（返済義務はなし）。

### 4. 支給期間

2015年4月からの2年間とする。ただし、各課程最終学年の場合は1年間のみでの支給とする。

※秋入学生について

2015年4月～2016年9月まで（標準修業年限の修了月まで）の1年半とする。

【大学院学生用】

5. 応募方法

大学を通じて応募する（指定校制）。

6. 応募に必要な提出書類と手続き

下記必要書類を添え、在学する大学の留学生担当窓口へ提出する。

1 申請書類（黒のボールペンを使用し、所定用紙に日本語で、本人が自筆で記入したもの）

2015年度奨学生申請書 用紙

履歴書 用紙

日本語の習得 用紙

身上書(1) 用紙

身上書(2) 用紙

【自己アピール】用紙

※「日本留学の目的」、「大学院修了後に希望する進路」、「将来、日本と母国の懸け橋になるためのあなたの考える役割」を、具体的に書いてください。

【研究テーマについて】用紙

※専門外の人にもわかるように書いてください。

【今までの主な研究成果（公表論文または学会報告等）】用紙

※論文提出は不要。また、実績がない場合はなしと記入。

2 芸術系専攻の方 作品集（ポートフォリオ）A3もしくはA4サイズ

3 芸術系専攻等の方で、グループで一つの研究をしている場合  
全体の中での申請者の役割（内容）がわかるように説明してください。

4 指導教員・学科主任等の推薦状（所定用紙に推薦者本人が記入したもの）  
パソコン等による原稿の場合、所定用紙使用、あるいは所定用紙記載事項と同じ内容のものとする。いずれも推薦者本人が氏名を記入し、捺印してください。

5 在学証明書（入学年月日記載のもの）

6 学業成績書

現課程の学業成績書を提出。また、いずれの者も日本及び母国の大学・大学院・専門学校等を卒業・修了した場合は、それらの課程の学業成績書をすべて提出すること。その際、成績書原本が入手困難な場合は、コピーで可。

（例）日本以外の大学学部卒業→日本以外の大学院修士課程（博士前期課程）修了  
→日本の大学院修士課程（博士前期課程）修了→2015年4月より日本の大学院  
博士課程（博士後期課程）2年次進学

提出が必要な学業成績書

日本以外の大学学部・日本以外の大学院修士課程（博士前期課程）・日本の大学院  
院修士課程（博士前期課程）・現課程の学業成績書の4種類

## 【大学院学生用】

- 7 2015年4月に修士課程（博士前期課程）1年次に入学予定の者は、修士課程（博士前期課程）合格の通知のコピー  
2015年4月に博士課程（博士後期課程）1年次に入学予定の者は、博士課程（博士後期課程）合格の通知のコピー

8 住民票（住民票記載事項証明書）

9 健康診断書（大学より証明された健康診断書、あるいは同等内容を証明したもので可。いずれもレントゲン所見は、1年以内のもので可。）

### 10. 外国人留学生奨学金申請書に係る同意書

※提出書類4～9で、申し込み受付期間までに間に合わない場合は、その旨を在学する大学の留学生担当窓口連絡すること。

## 7. 選 考

大学より推薦された学生全員を対象とし、当財団選考委員会において書類選考と面接を行い（4月中旬頃）、4月中～下旬頃に選考の結果を大学に通知する。

※選考の結果、合格した学生には当財団の第1回目の交流会である認定証授与式（4月下旬開催）の案内を送付する。

※合格者に対して、当財団の活動・諸規則等を説明後、その内容を承認した者を最終合格者とする。

## 8. 申 込 の 受 付

書類送付先 〒607-8307 京都市山科区西野山射庭ノ上町237番地  
公益財団法人 加藤朝雄国際奨学財団 宛  
受付期間 2015年3月2日（月）から同年3月20日（金）まで  
2015年3月20日（金）必着  
その他 提出書類の返却はいたしません。

## 9. 奨学金支給方法及び交流活動等について

当財団の奨学生に採用された場合、以下の事項について遵守いただきます。

- (1) 奨学金は、学業や生活状況について報告の上、手渡しにて支給（交流会の開催月は、交流会会場にて支給）、及び振込。
- (2) 交流会（認定証授与式、当財団終了生との交流、研修旅行等。2014年度実績）に参加し、積極的に他の奨学生との交流を図ること。
- (3) 研究論文やレポートの提出、その他当財団が定める取り組み等に参加すること。

## 10. 注 意 事 項

下記のいずれかに当てはまる場合、奨学金の支給を停止または廃止する。

- (1) 「9. 奨学金支給方法及び交流活動等について」の事項が遵守できない場合。
- (2) 他の奨学財団等からの奨学金の重複受給。
- (3) 申請書に虚偽の記載をした場合。
- (4) 在学する学校の学籍を失った場合。

【大学院学生用】

- (5) 在学する学校を長期休学した場合。
- (6) 病気などにより学業の継続が困難になった場合。
- (7) 奨学金を必要としない事由が生じた場合。
- (8) 法律や社会秩序に反する行為を行った場合。
- (9) その他当財団が奨学金の支給が不相当と認めた場合。

11. 個人情報の取り扱いについて

申請書に記載された内容・提出書類は選考の目的にのみ使用し、当財団で責任をもって取り扱います。ただし、以下のとおり特定の関係者に対してのみ個人情報が提供されます。

- ① 書類選考・面接のための選考委員への情報提供。
- ② 複数の奨学金合格者確認のため、大学及び奨学財団等に「合格者一覧」を提供。

お問い合わせ先 **公益財団法人加藤朝雄国際奨学財団**

〒607-8307 京都市山科区西野山射庭ノ上町 237 番地

TEL : 075(595)9020 / FAX : 075(595)8996

E-mail : kaisf0221@hotmail.com

10:00~16:00 まで (土・日・祝日は休み)

\*楷書で記入し、略字などは使用しないこと。

# 2015年度 奨学生 申請書

【大 学 院 学 生 用】 (      年      月      日現在)

(公財) 加藤朝雄国際奨学財団  
理事長 加藤 梅子 殿

奨学金の支給を受けたく、申し込みます。  
また、申請書及びその他提出書類一式に記載された事項に  
虚偽のないことをここに誓います。

写 真  
(5×4cm)

\*上半身のみで半年  
以内に撮影したもの  
\*裏面に姓名・学校名  
を記入、添付のこと

氏名: \_\_\_\_\_ サインまたは印鑑: \_\_\_\_\_

フリガナ	-----											
姓 名	-----											
英 文 名	_____				_____							
	Family Name				First Name							
生年月日	19	年	月	日生	年 齢	満	才	性 別	男・女	結 婚	未 婚 ・ 既 婚	
					2015						その他 (      )	
					4.1現在							
フリガナ	-----											
現 住 所	〒 (      )			市			電話 (      )			-		
	県 府											
2015年 4月以降 在籍 大学院	大 学 院 課 程	大学大学院      研究科      課程      年次										
	専 攻	所属講座名・研究室(ゼミナール)名等										
	入 学 日	年			月			日			入学	
	指 導 教 員	役 職 名 ----- (フリガナ) 姓 名										
母 国 または 日本以外 の連絡先	英文表記	-----										
	氏 名	本人との関係										
	英文表記	-----										
住 所	〒 (      )			電話 (      )			-					
	[ 国名 ] [      ]											

\*楷書で記入し、略字などは使用しないこと。

# 履 歴 書

( 年 月 日現在)

(フリガナ)  
姓 名

学歴等

1. 下記の学校区分に該当しない場合は、別紙または、“赤”で訂正、記入して提出すること。  
 2. 該当がない箇所については「なし」と記入し、空白にしないこと。  
 3. 学歴等欄にあてはまらない期間は別紙（A4・書式自由）に詳細を記入し、空白期間のないようにすること。

学 校 区 分	学 校 名 (所在地)	正 規 年 数	入 学 ・ 卒 業 年 月	専 攻 学 科
高 校 (母国・日本) <small>該当するものに○印</small>	( )	年	入学 年 月 卒業 年 月	
大 学 (母 国 )	( )	年	入学 年 月 卒業 年 月	
大学院修士課程 [博士前期課程] (母 国 )	( )	年	入学 年 月 卒業 年 月	
大学院博士課程 [博士後期課程] (母 国 )	( )	年	入学 年 月 卒業 年 月	
日本語学習校 (母国・日本) <small>該当するものに○印</small>	( )	年	入学 年 月 卒業 年 月	
そ の 他 専 門 学 校 等	( )	年	入学 年 月 卒業 年 月	
大 学 (日 本 )	( )	年	入学 年 月 卒業 年 月	
大学院修士課程 [博士前期課程] (日 本 )	( )	年	入学 年 月 卒業 年 月	
大 学 院 (2015年4月以降 在籍大学院)	大学大学院 研究科 課程 年次	年	入学 年 月 卒業見込 年 月	/
兵 役	過 去	年 月 日 から 年 月 日 まで		
	将来の予定	年 月 日 から 年 月 日 まで/不明		
そ の 他 受 賞 歴 等				

職歴

(該当がない箇所については「なし」と記入し、空白にしないこと。また、欄が足りない場合は別紙（A4・書式自由）に記入のこと)

勤 務 先 名 (所在地)	職 務 内 容 (役職名)	勤 務 期 間
( )	( )	年 月より 年 月まで
( )	( )	年 月より 年 月まで

\*楷書で記入し、略字などは使用しないこと。

## 日本語の習得

(        年        月        日現在)

(フリガナ)  
姓        名

日本語の習得について (内容を出来るだけ詳しく記入すること。)

1. 日本語を習得しようとした動機について

---

---

---

---

---

---

---

---

2. 日本語をいつ、どこで、どのような形で学習したかを記入

学校、会社、独学等	期 間	学 習 内 容

上記表以外で記入したい事項

---

---

---

---

3. 日本語検定 { 1. 該当するものに○印を付すこと。  
2. 「有」に○印を付けた場合は、その内容を記入すること。 }

日本語検定の受験    有    ・    無                      取得した日本語検定のレベル {                      }

\*楷書で記入し、略字などは使用しないこと。

# 身 上 書 ( 1 )

(            年            月            日現在)

(フリガナ)  
姓            名

出身国住所

電話 (            )            -

## 家族状況

1. 日本あるいは母国において、本人と同居していない場合（家計を異にする場合）も記入すること。  
また本人と日本で同居している家族がいる場合は、※同居欄に○印を付すこと。
2. 続柄欄の兄弟姉妹は、該当するものに○印を付すこと。
3. 勤務先または学校名欄で、無職・退職・主婦の場合は、該当するものを記入すること。
4. 記入欄が足りない場合や下記の区分に該当しない場合は、別紙または、“赤”で訂正、記入して提出すること。

家族姓名 <small>姓、名の順で記入のこと</small>	続 柄	年 齢	現 住 所	勤務先または学校名	※同居
	父				有・無
	母				有・無
	兄 弟				有・無
	姉 妹				有・無
	配偶者				有・無
	子				有・無
					有・無
					有・無

## 奨学金受給実績

1. 2015年4月以前の卒業大学及び大学大学院・在籍大学大学院に在学期間中、受給した奨学金を最新のものから2つ記入すること。
2. 該当がない箇所については「なし」と記入し、空白にしないこと。

奨学金の名称	給 付 金 額	受 給 期 間
	年額                      円	年 月 ~                      年 月
	年額                      円	年 月 ~                      年 月

## 奨学金受給予定

1. 2015年4月以降に受給が決定している奨学金を記入すること。
2. 該当がない箇所については「なし」と記入し、空白にしないこと。

奨学金の名称	給 付 金 額	受 給 期 間
	年額                      円	年 月 ~                      年 月

## 現在申請中の奨学金

1. 当財団以外で、受給期間が2015年4月以降の奨学金を記入すること。
2. 該当がない箇所については「なし」と記入し、空白にしないこと。

奨学金の名称	給 付 金 額	受 給 期 間
	年額                      円	年 月 ~                      年 月
奨 学 金 採 用 発 表 日		年 月 日



\*楷書で記入し、略字などは使用しないこと。

## 身 上 書 ( 2 )

(          年          月          日現在)

(フリガナ)  
姓          名

## 経済状況

1. 2014年度の経済状況について、月額にて記入すること。
2. 各月または臨時的な状況等により1ヶ月の金額に変動がある場合は、平均した月額を記入すること。
3. 収入・支出・差額欄とも必ず記入すること。なお該当がない箇所については「0」、または「なし」と記入し、空白にしないこと。

## 毎月の平均収入額

(単位：円)

(1) 本国等からの仕送り								仕送り者の氏名： 続柄：
(2) アルバイト								職務内容： 期間（週2回等）：
(3) 他の奨学金								奨学金の名称： 受給期間：          年          月～          年          月
(4) その他								内容（保証人などからの援助、配偶者からの収入等）：
収入月額合計（A）								

## 毎月の平均支出額

(1) 住居費								住居区分（当てはまるものに○印） 寮・アパート・持ち家・その他（          ）
(2) 授業料（+諸経費） 1ヶ月当たりの平均授業料 （実際に支払う年間費用÷12）								年間費用全額          円 授業料免除額          円 実際に支払う年間費用          円
(3) 生活費	食費							
	水道・光熱費							
	電話代							
	交通費							
	書籍・学用品費							
	保険料							
	その他生活費							内訳：
	その他生活費							内訳：
その他生活費							内訳：	
支出月額合計（B）								

差      額（A-B）							
---------------	--	--	--	--	--	--	--

氏名 \_\_\_\_\_

【自己アピール】

学習や日常生活などを通して、あなたが当財団に対してアピールできる点「日本留学の目的」、「大学院修了後に希望する進路」、「将来、日本と母国の懸け橋になるためのあなたの考える役割」を、具体的に書いてください。

(用紙が不足する場合は、本紙をコピーしてください)

「日本留学の目的」

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

「大学院修了後に希望する進路」

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

氏名 \_\_\_\_\_

【自己アピール】

学習や日常生活などを通して、あなたが当財団に対してアピールできる点「日本留学の目的」、「大学院修了後に希望する進路」、「将来、日本と母国の懸け橋になるためのあなたの考える役割」を、具体的に書いてください。

(用紙が不足する場合は、本紙をコピーしてください)

「将来、日本と母国の懸け橋になるためのあなたの考える役割」

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

氏名 \_\_\_\_\_

【研究テーマについて】

研究テーマ及び研究計画・内容を一般の人にもわかるように書いてください。

※制限字数：1枚あたり600字まで、制限枚数：2枚まで

(用紙が不足する場合は、本紙をコピーしてください)

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

氏名 \_\_\_\_\_

【これまでの主な研究成果（公表論文または学会報告等）】

研究テーマ欄には、論文のタイトル及び、論文の概要を2～3行で説明してください。  
 なお、論文は添付の必要はありません。※用紙が不足する場合は、本紙をコピーしてください。

公表 年月日	使用 言語	研 究 テ ー マ	公 表 雑 誌 名 ま た は 公 表 学 会 名 等
		_____ _____ _____	
		_____ _____ _____	
		_____ _____ _____	
		_____ _____ _____	
		_____ _____ _____	
		_____ _____ _____	

# 推 薦 状

公益財団法人 加藤朝雄国際奨学財団  
理 事 長 加 藤 梅 子 殿

留 学 生 氏 名 \_\_\_\_\_

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

推薦者（指導教員・学科主任等）

所 属 機 関 \_\_\_\_\_ 職 名 \_\_\_\_\_

氏 名（自筆） \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_

# 外国人留学生奨学金申請に係る同意書

年 月 日

京都大学副学長(学生担当理事) 殿

申請する奨学金名称:

---

1. 私は、このたび申請する奨学金(以下、「当該奨学金」とする)に採択された場合、京都大学(以下「大学」とする)の学生として誇りを持ち、その義務と責任において、当該奨学金給与規定、募集要項等に記載の奨学生義務を遵守します。
2. (併願・併給不可の原則)私は、大学において、原則として奨学金の併願・併給ができないことを理解し、このたびの申請にあたり、採否結果が判明するまでは、他の奨学金へ申請しません。当該奨学金に採択された場合には、当該奨学金を受給し、すでに個人手続きにより応募した奨学金を辞退します。
3. (当該奨学金採択後: 交流活動への参加・報告書の提出)私は奨学金出資者等の企画する交流会・地域貢献活動等へ積極的に参加します。また、やむをえず欠席する場合には、必ず事前に主催者へ欠席連絡を行います。また、奨学金出資者等が学習報告書・活動報告書等を求める場合には、定められた期限までに提出します。
4. (当該奨学金採択後: 退学・休学・長期欠席等の連絡)私は、休学、退学、留年等学籍異動が生じる場合、1ヶ月以上海外渡航及び長期欠席する場合には、奨学金出資者等へその旨遅滞なく報告し、また大学の所属事務室へも併せて報告します。また都合により私が報告できない場合には、大学の判断により、大学が私の状況・身分変更について奨学金出資者等へ報告することに同意します。
5. (当該奨学金採択後: 連絡先変更の連絡)私は、私の連絡先を変更する際には、遅滞なく奨学金出資者等へ変更後の連絡先を報告し、併せて、大学の所属事務室へもその旨報告します。また都合により私が報告できない場合には、大学の判断により、大学が私の連絡先を奨学金出資者等へ報告することに同意します。
6. (当該奨学金採択後: 継続申請)私は、採択された奨学金(支給月額10万円以上)が2年以上継続申請可能である場合には、継続申請を行うこととし、継続申請の採否結果が判明するまで、他の奨学金には応募しないことに同意します。

署名:

---

連絡先1 (本人)	発音をカタカナで記載				備考
	氏名				
	住所	〒			
	携帯電話番号	-	-	携帯メール	
メールアドレス (パソコン)					

連絡先2 (母国)	緊急時の母国の連絡先	発音をカタカナで記載: 氏名:		続柄:
	住所			
	電話番号			
	メールアドレス			

